

入館料 | 500円 OPEN 15:30 CLOSE 21:00

皇室御臨泊の歴史

(平成30年10月現在)

- 昭和30年 清宮貴子内親王(昭和天皇第五皇女)御臨泊
- 昭和34年 高松宮殿下・同妃殿下御臨泊
- 昭和38年 三笠宮殿下御臨泊
- 昭和39年 高松宮殿下御臨泊
- 昭和40年 天皇殿下・皇后陛下御臨泊(昭和天皇)
- 昭和42年 皇太子殿下・同妃殿下御臨泊(今上天皇)
- 昭和43年 高松宮殿下・常陸宮殿下御臨泊
- 昭和52年 秩父宮殿下御臨泊
- 昭和57年 天皇陛下御臨泊(昭和天皇)
- 昭和62年 常陸宮殿下・同妃殿下御臨泊
- 同 年 浩宮殿下御臨泊(皇太子殿下)

History

館内コレクション

Choraku Collection



マルク・シャガール



東郷 青児



伊東 深水



棟方 志功



藤田 嗣治



東山 魁夷

Choraku
Collection
Gozasyo
Art Gallery

昭和天皇御座所



Choraku Collection Gozasyo Art Gallery

～御座所・和泉の間～

ご自由に椅子にお掛け下さい。
写真撮影可能。

昭和天皇が当館に御臨泊された御座所・和泉の間です。
昭和四十年に御臨泊された旧御座所を移築・増築し、昭和五十七年に島根県で開催された「くにびき国体」の総合開会式にご臨席された折に再び当館に御臨泊されました。以来、御座所・和泉の間は三十六年間使用することなく「開かずの間」でしたが、平成から次の御世への御代変わりにあたり、激動の昭和時代を振り返っていただく場所として、当館所蔵の美術工芸品と併せて皆様にご覧いただくことといたしました。



拝謁の間

県知事・県警本部長他、島根県要人が昭和天皇にご挨拶をされた部屋です。



御居間

この部屋で昭和天皇が御寛ぎになりました。下駄をお履きになりお庭をご散策されました。床の間の掛軸は昭和天皇が昭和四十年に御臨泊されるにあたり、島根県浜田市出身の橋本明治画伯に注文して描いていただいた「双鶴」です。当館所蔵の美術工芸品も併せて展示しています。

御食堂



御寝室



御刀替の間



御湯殿



Choraku Collection 歴史に名を刻む作品

長楽コレクション



三色扁壺
河井寛次郎作



柿釉鉄絵角瓶
濱田庄司作



緑扁壺
河井寛次郎作



黄釉扁壺
松本研児作



備前焼筒花入
藤原啓作



灰釉柿流し花入(壺)
北大路魯山人作



双鶴
橋本明治作



白梅
横山大観作